

世界糖尿病デー “おおさか”2010

11月14日（日）ブルーに
ライトアップされます



大阪城天守閣



関電ビルディング



通天閣



海遊館アクアツリー

主 催 :大阪糖尿病対策推進会議

共催団体:大阪府医師会・日本糖尿病学会近畿支部(大阪府担当)・大阪糖尿病協会・大阪府歯科医師会・大阪府内科医会・大阪府眼科医会・大阪透析医会・大阪府薬剤師会

共催企業:ノボ ノルディスク ファーマ株式会社、日本イーライリリー株式会社、株式会社三和化学研究所、MSD株式会社、武田薬品工業株式会社、アステラス製薬株式会社、アボットジャパン株式会社、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社、サノフィ・アベンティス株式会社、ロシュ・ダイアグノスティック株式会社、小野薬品工業株式会社、ノバルティスファーマ株式会社、バイエル薬品株式会社

協力企業:関西電力株式会社、通天閣観光株式会社、大阪ウォーターフロント開発株式会社(海遊館)、

後 援 :大阪府、大阪市、日本医師会、日本糖尿病学会、日本糖尿病協会、日本歯科医師会、日本WHO協会
読売テレビ放送株式会社、朝日新聞社、株式会社新日本海新聞社(大阪日日新聞)

世界糖尿病デーとは

拡大を続ける糖尿病の脅威を踏まえ、2006年12月20日、国連は国連総会議で、IDFが要請してきた「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」を加盟192カ国の全会一致で可決しました。同時に、従来、国際糖尿病連合(IDF)ならびに世界保健機関(WHO)が定めていた11月14日を「世界糖尿病デー」として指定しました。IDFは決議に先駆け、「Unite for Diabetes」(糖尿病との闘いのため団結せよ)というキャッチフレーズと、国連や空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」を使用したシンボルマークを採用。全世界での糖尿病抑制に向けたキャンペーンを推進しています。

今年のスローガンは“糖尿病をコントロールしよう。今。”です。

世界で10秒に1人の命を奪う糖尿病

糖尿病は今や世界の成人人口のおよそ5～6%となる、2億4600万人が抱える病気です。一般的に死に至る病気との認識は薄いですが、年間実に380万人以上が糖尿病の引き起こす合併症などが原因で死亡しています。これは世界のどこかで、10秒に1人が糖尿病に関連する病で命を奪われている計算となり、

世界糖尿病デー “おおさか”2010

IMPビル 松下IMPホールにて
府民公開講座

午後2時～3時30分
クイズで学ぶ
子どものための糖尿病教室

午後3時40分～4時40分
府民のための糖尿病教室
(合併症を出さないために)



午後1時～4時:糖尿病相談コーナー

・近鉄百貨店阿倍野店9階イベントルーム
(体脂肪測定)

・ツイン21アトリウム
(先着100名に血糖値・HbA1c測定)

糖尿病診療に携わる医師、歯科医師、
薬剤師、看護師、栄養士、臨床検査技師など
専門スタッフが相談にお答えします。



世界糖尿病デー “おおさか” 2010

「府民公開講座 & Unite for Diabetes」

開催日時 平成22年11月14日(日) 午後2時～

開催場所 IMPビル 松下IMPホール 開場:午後1時30分～

(近鉄百貨店阿倍野店9階イベントルーム、TWIN21アトリウムでは、午後1時より4時まで、糖尿病専門スタッフによる相談コーナーを設けています。)

スケジュール

14:00～15:30

クイズで学ぶ子どものための糖尿病教室

15:50～16:50

府民のための糖尿病教室:合併症を出さないために

17:20～

Unite For Diabetes (IMPホール)

★開会挨拶

大阪糖尿病対策推進会議代表 清野 裕 (日本糖尿病協会理事長)

大阪糖尿病対策推進会議顧問 伯井 俊明 (大阪府医師会長)

★来賓挨拶

大阪府健康医療部 永井 伸彦

大阪市健康福祉局首席医務監 寺川 和彦

(社)日本WHO協会理事長 關 淳一

17:40～

★活動報告:世界糖尿病デー”おおさか”2010

近鉄百貨店阿倍野橋店 細谷 詩子 (近鉄百貨店産業医)

TWIN21アトリウム 中嶋 千晶 (なかじまちあき内科クリニック)

IMPホール 川村 智行 (日本糖尿病協会小児糖尿病対策委員)

街頭ビラ 担当者代表

18:00～

★大阪糖尿病協会代表挨拶 権野 博 (大阪糖尿病協会会長)

★共催団体紹介

★ボランティア参加者紹介 (代表)

★共催企業・協力企業紹介

18:20～

★記念撮影

18:30

★閉会 大阪糖尿病対策会議幹事 福田 正博 (大阪府内科医会会長)